

# 新潟県公民館月報

発行人  
新潟県公民館連絡協議会  
新潟市寄居町  
越後自治会館内(電 2-7954番)  
振替口座 新潟 4094  
六月号 (39号)

◎関係者各位の積極的御協力を御願いします

## 公民館法制定促進

### 募金運動を展開

専任職員二〇〇円  
兼任職員一〇〇円

昨年十月第四回 期は本県では「その使途範囲」前  
全県公民館大会に 画」を明確にするべきであるとして  
おいて決議された その提出を求めているのであるが  
公民館法制定の署 事務局長よりは何等の返事がなく  
各運動と募金運動 遊に本県よりその試案を提出した  
は全国的に実施さ けて、今回その試案が一部修正さ  
れ、既に署名簿の 一部は内閣、文部 連に通知された。

◎募金運動実施要  
項(抄)

- 一、総目標額六六三万六、四〇〇円
- 二、右目標額は協議員会にて算定したもので職員数(昭三〇・三・一現在)より算出したものである

## 論壇

### 満十歳になつた公民館

三島・西越 高橋 竹二

昭和二十二年七月、文部次官 植木 通穂によつて始めて、公民館運 播が提唱され、その後二十四年 六月社会教育法が公布、施行と なるまでが公民館の仕事であり、 なる、この間に公民館の目 的が初め、法的に明確にな されたのである。

戦後戦後の悪条件と戦いが 社会教育の中心施設として、 有形無形の役割を果たして来た が、公民館の本質的性質がらし みの施設となり得ず、村民と共

そこで今後の公民館の活動は 科学的立場に立つ必要がある。 民衆は急えず進歩し科学も又日 進歩歩あります。昨日の是は 今日の非となることもありまし 今日の非となることもありまし

## 関東甲信越静協議会結成

### 相互の連絡と協調が目的

関東甲信越静公民館連絡協議会 は去る六月九、十日の両日福原川 協成会(文部省主催)の関東プロ ソク社会教育研究会に引継ぎ行な われたもので、全関係県公連代表 が参加、文部省より二宮徳島氏 も出席し、その由緒を説明された

選出された役員は左の通り、 会長 堀原次郎(埼玉) 副会長 神宮寺 理(山梨) 事務局長 江崎文男(奥主事) 主事 梅沢健、江連俊嗣 書記 出口耀男

臨時会費	三六万円
委員調査費	六〇万円
2 法審議委員会費	八二万円
定例会費	三六万円
臨時会費	一五万円
委員調査費	三〇万円
事務局費	二七五万円
事務局整備	二〇〇万円
人件費	六〇万円
渉外関係費	八〇万円
企画調査費	五〇万円
広報連絡費	六五万円
4 事務委託費	一〇〇万円
5 予備費	三九万六千円
1 法対策委員会費	一六八万円
定例会費	七二万円

法審議委員会は法案作制のため の諮問機関とする。その委員は 若七名とし、政界、学界、教育界か ら選出される。

◎単行法促進計画(抄)

- 一、公民館法対策委員会(立案審 議委員会)を設ける
- 二、法対策委員会は全法連役員組 織の中に特設し、法制促進委員 会の計画立案と実践に当たる
- 三、前記委員会の機能を果たすため 全法連会長のもとに左の事務局 を設置する
- 四、経費

一、行政の方針

これまでの社会教育は、不特定多数集団による行事中心の活動が、個別的に繰り返されてきたことがあった。

このことから、生活課題を解決する意図的、継続的な自主的、小団活動を重視する方向に向わなければならない。

以上を軸から本年度は、上述の社会教育活動が充分促進されるよう、次の四つの面の奉仕を強化する。

- (1) 機会の提供
  - 指導者の養成は総合的に行う。
  - 特に小団活動の必要性とその技術研究を重視する。
  - 小団活動について現地研修の機会を多くもつ。

- (2) 総合社会教育研究会ならびに各種講習会、研修会等の立案にあつても小団活動を重視する。

- (3) 資料の提供
  - 各種の資料は社会教育活動の方法技術と事例を中心として

刊行する。

視聴資料、超短波教育放送、録音教材等も、新しい社会教育活動の促進に役立たせるよう配慮する。

文化財の各種資料も社会教育に活用できるよう配慮する。社会教育広報によつて、正しい情報を提供する。

地域社会における生活課題を、自主的に解決しようする方法技術の指導助言に重点をおく。

社会教育主事、主事補は、相互の連絡を密にし、共通の指導理念をもつて助言を行う。

新生活運動を社会教育の一環として取りあげ、その実践について指導する。

講師団は社会教育活動の促進に寄与しようとする。

施設設備管理

- 県立図書館、視聴覚ライブラリーは、社会教育活動に奉仕

できる体制を整備する。

市町村の公民館、図書館等が、小団活動の促進にも役立つようその施設、管理について指導する。

社会教育施設が本来の使命を充分果しようよう、特に設備の充実を促進する。

前述の方針にもつき、本年度社会教育施策の重点を次の四点とし、これに総力を結集する。

二、施策の重点

- (1) 青年教育、婦人教育の振興
- (2) 公民館施設ならびに活動の促進
- (3) 超短波教育放送の普及
- (4) 新生活運動の育成

以上の重点施策を推進するとともに、さらに広範な社会教育行政をすすめるため、本年度はその領域と努力すべき目標を次のように設定する。

- (1) 新生活運動、婦人教育の振興
- (2) 指導者の養成
- (3) 婦人団体、PTA等の組織運営の合理化と活動の日常化
- (4) 成人の学級、講座の普及奨励

青少年教育

青年団体、青年学校の自主的運営、小団活動、共同学習の促進

指導者の養成

技術研究のための資料提供

青少年教育関係者の連絡強化

職員の資質の向上と専任職員の増員

独立建物、備品、教具、資料の整備

住民と共にある活動の促進

地区視聴覚ライブラリー登録利用団体の連絡組織結成促進

超短波受信機増設促進

効果的聴取活動の指導

録音教材の整備と利用の推進

文化財

地方教育委員会ならびに社会教育諸団体の協力による文化財の保護

調査研究活動の充実促進

広報活動に対する認識の深化とその展開

僻地社会教育の研究と推進

社会教育主事の研究

社会教育事務局にて受付中

調査研究活動の充実促進

広報活動に対する認識の深化とその展開

社会教育事務局にて受付中

調査研究活動の充実促進

広報活動に対する認識の深化とその展開

昭和三十一年度 社会教育行政の方針と施策

新潟県教育庁社会教育課

図書室

西洋のなかの東洋
吉川幸次郎著
『東洋のなかの西洋』は巻首である。
昭和三〇、二二刊
B6 一九P 二四〇円
文芸春秋新社

銭形平次捕物全案
野村胡堂著
且て吉田吉相が銭形平次を説いたとて、ゴジッパになったことがあるが、ゴジッパにゴジッパにする方が少しどうかしているのではないかと一語評している。
『銭形平次』というゴジッパの西語らしい専門書や教養、教訓の書を一一般に考え勝ちの隣人が楽しむのを本を読んでも読書なのではないか。

『アメリカ人は旅客に對して大へん親切である。不愉快な思いをしたことはあまりない。』
『アメリカ人は旅客に對して大へん親切である。不愉快な思いをしたことはあまりない。』
『アメリカ人は旅客に對して大へん親切である。不愉快な思いをしたことはあまりない。』

『アメリカ人は旅客に對して大へん親切である。不愉快な思いをしたことはあまりない。』
『アメリカ人は旅客に對して大へん親切である。不愉快な思いをしたことはあまりない。』
『アメリカ人は旅客に對して大へん親切である。不愉快な思いをしたことはあまりない。』

『アメリカ人は旅客に對して大へん親切である。不愉快な思いをしたことはあまりない。』
『アメリカ人は旅客に對して大へん親切である。不愉快な思いをしたことはあまりない。』
『アメリカ人は旅客に對して大へん親切である。不愉快な思いをしたことはあまりない。』

『アメリカ人は旅客に對して大へん親切である。不愉快な思いをしたことはあまりない。』
『アメリカ人は旅客に對して大へん親切である。不愉快な思いをしたことはあまりない。』
『アメリカ人は旅客に對して大へん親切である。不愉快な思いをしたことはあまりない。』

『アメリカ人は旅客に對して大へん親切である。不愉快な思いをしたことはあまりない。』
『アメリカ人は旅客に對して大へん親切である。不愉快な思いをしたことはあまりない。』
『アメリカ人は旅客に對して大へん親切である。不愉快な思いをしたことはあまりない。』

『アメリカ人は旅客に對して大へん親切である。不愉快な思いをしたことはあまりない。』
『アメリカ人は旅客に對して大へん親切である。不愉快な思いをしたことはあまりない。』
『アメリカ人は旅客に對して大へん親切である。不愉快な思いをしたことはあまりない。』

◎ 関係者各位の積極的御協力をお願いいたします

# グループ活動のすすめ方

## ある青年団長の質問に答えて

梅雨も止み清泉地方は九分通り田畑も終つたようです。

過日は御紙で青年団運営の盛みについていろいろお書き頂戴今更のうちに現場の苦勞を考へさせられた次第です。

さて現場の様子をよく知らない私にいろいろの質問をされてはるのですが、お答えになるかどうか。とご机の上での考へと思つてお書きします。

質問の要旨は

- 1 グループ活動をすすめてゆく具体的な方法
- 2 何を題材としてとりあげるか

の二点であり、グループ活動がよいことではあるが、現実にはリーダーがいらない

2の点がある題材が多きるので向から始めてよいからない

というふうなお気持ちのようでした

グループ活動という一時盛んに叫ばれた「グループ制」が網羅制か」といふことが思い出されま

すが私はこの両者を立体的に考へておりました。地域集団としての青年団の中に、目的集団としてのグループ組織をうまくみ合わせ

てゆくことによつて、青年団を除かれてゆくものから私のうける感

々に新しいものに発展を促すべくしてゆかなくてはならないのです。

これらの組織をどうしてゆへかはいずれ又の機会にゆずるとしてここではグループ活動をすすめる時の気持について考へてみます。

グループ活動をすすめる場合、誠に当然のことですが、一人一人の気持を重んじてゆくことと

です。グループの問題として何をとりあげるかという二つを考へてみて、それは何でも皆

年たちが、自由な話し合いを行いその話し合いの結果が共通の問

題となっているものをとりあげることにあります。とりあげた問題について研究し、やってみようと思

う青年が五人でも七人でもおつた時、そこに、その問題を中心にたグループができ、グループ活動が行われます。その点あなた

の青年団で三十年度とあつた間題をみますと、農業部、生活部、文化部の三部でそれぞれ年間やるべき仕事を決定して、その事業をこなすために団員なり部員なりを動員してゐるといつた印象を受け

ます。勿論、あなたの手紙に記載

あります。従つていろいろの問題は「条件整備者」といつわうか「助

があらはれいくつもグループがで

きるわけだし、そのグループの人

数も当然十人前後位のものになり

ましよう。要するに組織が先にお

るのではなくて、青年の自主性と

目的意識と仲間意識と、へたにな

く話し合える人間関係がつけられ

ることがグループ活動の前提であ

ることになります。

本年の生活部の計画に於いての集

（女子）の製作がありますが、こ

れについても言えることはやはり

前のごと同じです。女子のユニ

ホームとして夏の集會着を準備

することが「どこか誰かが、

一人一人にかかわりなく定められ

た問題であつてはなりません。

みんなの話し合いの中からとき

々問題があつて、女子青年の一人

一人誰かが「なぜこのことが考

へられたか」をを作らなければなら

ないのか」を自分の問題として意

識していなければなりません。そ

のほつきりつた気持でこれを問題

意識していつています。これはあ

る程、この問題とより組む女子の

グループは気が合ひこれ仲間

意識が強いといつています。集ま

らないという悩みもなく仕事が順

調にすすみます。

ただごであなたも心配してい

るリーダーの問題があります。

これまでリーダーは何から何

まで知つていて指導してゆくとい

つたものとして考へられていま

したが、今考へられてリーダー

は「条件整備者」といつわうか「助

手」が、うまく自分たちで仕事

をすすめてゆくために、わきから

相成つたり、資料を提供して

やる人をいつています。「裏の集

合者」のグループに例をとつて申

しますと、グループでこの研究を

すすめてゆく途中、洋服について

の一般知識をうるための講話を招

いて話をきく必要に迫られたら

した。その時適切な講師を心配

してやる役目をリーダーが果たせ

ばよいのです。そういついみり

リーダーであれば、場合によつては

団員の中からも自由に得られると

思ひます。

「リーダーがほしい」といつて

「何ともしリーダーの指図によ

つて動いてゆきたい」であつ

たり「リーダーがいなければ動か

ないから」であつたとしたら考へ

方がちがふと思ひます。グループ

活動はごまでも「人」にたよるな

い「青年たちの自主的な活動であ

る筈」。

さうゆう自主的活動が盛んにな

るためには、市町村で青年教育の

ためのいろいろの施設を備へ整え

ることが何より大切なことです。

こういう点がうまゆかないこと

には、グループ活動もなかなか

まよゆかないといつてごになり

ましよう。

グループ活動なるといつても、何

かどう新しい動きのさつとも思わ

れますが、こういう動きは昔から

青年団の中にもあつたのです。青

年たちが、本気で生活の課題とど

り組むとき、いつでも気の合

つた小集団の半活動が行われた

のです。たゞその頃は、さうい

グループ活動はあくまでも形式的

ものか、青年団とは無関係な組織

とみなされていたのです。網羅意

識の強い青年団は、青年たちが部

落全体、村全体として行動した

ことは極端にきつたのです。一

人一人研究ならぬ、同じ目的

をもつた者が部落の中で特殊な作

問をつつたり、又部落どうし研

を感へて集まり、村の伝統や慣行

の改善を研究するといつてゆくな

とは不穩なごととされていたの

です。しかし最初にもつたよつに

グループ活動は停滯し勝ちな青年

団に新しい息吹を注ぐ清流剤とし

て、又補習教育的な青年学級を、

青年たちの手にとり戻すために、

今ではさうして、団の中に、学

級の中にいり入れられねばならぬ

いふ大きな活動様式なのです。

たゞこの活動様式は、一定の型

があつてそれによつてはじめて

ゆへといつたものではなくて、そ

の時々々、その場に応じて、青年

たちが自由にいつてゆくもので

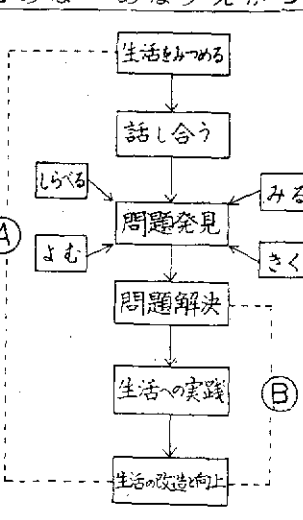
あつたと思つてはなりません。従つて目的

を達したたならば勿論解散してい

いわけです。

以上のごとを整理してみると次

の図のよつになると思ひます。※



ある場合はAが

ある場合はBがグループ活動になる

※具体的方法までお答えできませんが

いつか又お会いする機会を得た

らば、ごときと話し合つてみたい

と考へます。

御自愛の上御健斗下さい。

(猪股風雄)

活潑になつてきた

録音教材の利用

超短波による教育放送の実施に... 録音教材の利用... 録音教材が活潑に利用されるようになった...

録音教材を利用されたときに... 必ず聴取報告書提出することになつてゐる。しかし、...

朝の教養三周年

生活記録募集

ラジオ新調と異数録音教材の声を反映したきた番組とする... 朝の教養」が放送開始されてから三周年になるを記念して...

昭和三年七月二日【発表】 文部省、農林大臣賞他... 昭和三年八月四日【賞】 文部省、農林大臣賞他...

五月一カ月間に貸し出された教材数は延二五〇本で、一日平均五本の割合になつてゐる。これを利用した団体(公民館・青年学校・教育庁出張所・視聴電ライオンズ...

ラジ新調と異数録音教材の声を反映したきた番組とする... 既に利用されてゐる文部省企画のため、下記要領による生活記録募集...

昭和三年七月二日【発表】 文部省、農林大臣賞他... 昭和三年八月四日【賞】 文部省、農林大臣賞他...

視聴覚快室... 成人・児童技術(北は北海道) 一人の陽気な女房から南九州各地までの様々な... 町づくり。青年及一般一衛生は一つの型を示すものではなく...



# 伸びゆく公民館図書室

## 500冊より9,000冊まで

### 直江津市公民館

一般的に新しく市にはなされた公民館に対して市民の非常な期待が寄せられており図書活動に対する要望もその大きなもの一つになっている。

直江津市公民館は昭和二十四年四月設立され、活潑に読運動をくりひろげていったが、その中で早くも図書活動を進める努力がなされた。

当時の公民館は昭和二十四年四月設立され、活潑に読運動をくりひろげていったが、その中で早くも図書活動を進める努力がなされた。

当時の公民館は昭和二十四年四月設立され、活潑に読運動をくりひろげていったが、その中で早くも図書活動を進める努力がなされた。

蔵書の方は毎年約一、五〇〇冊増加し、内容は一般市民の読物、教養書が主体、文学関係の図書が全体の五二〇を占め、次いで社会科学の一〇、歴史の一〇〇を占め、その他は文学関係が全体の八三、うち小説は七六、日本小説は八〇、ほんやく小説八〇、やほり大衆的なものは利用率が高い。

以前昭和十六年には故山本氏の手付けによる図書が建てられ、昭和二十一年の役場の管理下に集められた御大社記念文庫を納め発定したが、戦時経済の中で充分な発展がなされた。

公民館では約五百冊の本を基礎に古書並みに新刊書を購入し始め、新たな構想のもとに図書建設

たので、現在の建物(建坪五坪)の内図書室(二十坪)に移転した。そして利用状況の進展につれ、奉仕の体制も次第に改善を加え、現在では破損図書の修繕のため一人の職員が殆んど専門に取りかかっている。しかし真に市民の要望にこたえる奉仕をするには、現職四人では手不足であり、工夫をこらして使用している物の、手狭な現在の建物、貸出本位の圖書方式が市民に与える不便など共に新たな問題となつてゐる。

しかしこの公民館図書部がこの際当初から自然に向つて著者に発展してきたことは、市民各層の要望の大きなことが中心力であると考えられる。それとこの発展を裏付けた予算の獲得には御礼旧館長(現市長)をはじめ市民各層の協力を推し進める有識者の理解が決定的な力となつてゐたことを見逃さない、更にこの施設を利する多くの方々の協力が今後の発展を約束して

この間において蔵書の充実にも、二十八年末には役場分室に隣り古書並みに新刊書を購入し始め、新たな構想のもとに図書建設



## 投稿

### 公民館が「住民のもの」となる為には

佐渡郡吉井公民館長 木下 而郎

先般中島講師の話にもあつたが私は館長は篤農家でなくては駄目だ(農村では)と信じている。

今春福島の優良公民館をみたり、又佐渡の公民館をみたり、公民館の振興には三要素がある。

- 一、長たる素質を有す。
- 二、幹部の人物に依る。
- 三、熱と迫力である。越後人はアバガ一本不足しているので、熱と迫力が足りないのが普通であるといわれる。
- 四、生活の保障があれば献身的努力の確信がある。そこで自然の漁人は百姓魂の持主である。即ち篤農家は素朴剛健、忍耐勤勞力強靱潔白、少しの嘘偽欺騙を許さない農村大家にヒツタリ合つてゐる。春期斗争等絶対に行やめ、黙々として天職に従事している。この崇高の精神持主でなくてはならない。天職に専念することができ、天然自然に育まれた確固たる信念の下に責任をもち、希望に自ら無難指導する処に公民館は自然と振興せざるを得ぬ。当初は町村長、学校長等が館長や幹部であつたが、公民館も小学校卒業した今日、教員官吏の古では物定めぬ。その時期ではない。住民大衆の中からなるべきである。使古した熱のない迫力のない者の

ひまつぶしに出ているのではない。大衆にとけこみ、大衆と共に動き、共に話合う館長でなくては住民のものではない。百姓は計画実施研究を毎年繰返している。公民館も然り。只実施のみで後見行為は物にならず、計画は完全な計画に依り、忠実に実施でなくてはならぬ。諸講習員等を見ても誰しも完全なりと考へる者はあるまい。講習が宴会か居限りか判断がつかぬ。時間表通りの開催するなく講師さえ居ない時がある。集合する者に希望を持たせていない。甚だししいのは受付さえ無。一日長椅子に陣取り、寒さによるふるふる事もあり、遠来の講師をなるべく多時間利用する考へさえない。三十分位で逃げ行き、従つて熱心なる討議もなければ挨拶もない。全旅費及びに幹部の養成より入らねばもならない。直ちに利用出来る素養ある者は百姓篤農家である。シンエイエイとして、精神の持主たるべきである。

私は一ヶ年館長をやつたが、事務担当者資格がない事に気がついた。自分の館のみか、且内県外まで調査したが、何処も同じ秋夕暮だ。いつい今迄毎年か事務担当者研究会を地区毎にやつて

いたせつたが、何をやつたのか、何も名目だけ遊山に重荷があつたのではない。公民館自体がそんなことで何が大衆のシンボルになつたか。思ふが、何をやつたのか。実感がさつぱり奉らない状態、大いに反省検討すべき点ではないか。原因は館長も大半はあつたと思ふ。すなわち不在型型型は官製型の公民館館長が多かつたので一例をせず公民館条件や諸規約等何知つていない。

よもや今迄事務がとれたと驚いてゐる。具体例は館長検印なしの受領書、収入使より金を受領している、或は館長検印なしの書類を送っている。私信と公信の区別を明にしない等その根本理念の修得が出来ていない。今迄幾年か県社教員講習の講義が来てくつた何か指導して、たの修は新生活運動動化した行事に変更して、新新生活運動の本家大衆教育講義がこんなんまで何ぞ叫んでいるのかと思ふ。全く社会の役に任せる公候の資格はそこへやう口では何か云うが、実行が一致しない状態でありはせぬかと考へる。本年も各都市毎に事務担当者研究会が計画されているが、よろす実の入つた研究を望む。私も必らずお邪魔して指導を受けたいと考へている

公民館法制定促進募金運動展開中

◎ 関係者各位の積極的御協力を御願いたします

# 公民館新築計画

## 各地に 見附市中央館と椿沢分館 彌彦村も本館を

見附中では長い間独立の建物が、身実業家連から五〇〇万円と既に  
なく、各種の行事に、或は文化団  
体の集合に不便を感して来た  
が、今回新築機運が熟し、過日は  
その第一として、新潟市、豊栄町  
新築市、新潟市と各地の公民館  
や公民館を模倣、その設計研究に  
一歩を踏み出した。それによると  
公民館は二階建とし、先づ管理  
及び應用の各室を設け、ホールは  
第一計画に當る。図書室は別棟  
として建設させ、渡り廊下にて連  
絡せしめることとなっている。費  
用はなお市周と折衝中である。枋  
尾鉄道橋沢駅前の子地等に、早  
が、北村知事から六〇万円、市出  
速一事を始めた。

同館はブロック二階建一四五坪  
幅上をホールとし、階下に事務室  
集客室等を作る予定で、生活改善  
も一段と進むものと住民は期待し  
喜んでいる。  
彌彦村も新築の音が高くなつて  
こと祈りた。

## 真野町

## 椿沢分館完成

妙見町)がその  
人である。  
前館長の土田  
州彦氏がある三  
月末をもって一  
身上の都合から  
おしまれつゝ退  
職した後任に、  
長が長岡市に登壇し、  
公民館活動に新風をお  
くるものと期待されて  
いる。六日市公民館長  
水落キユさん(長岡市  
水落館長談)「以前公民館の

町村合併により本館までの距離  
が合併前よりも遠くなったため、  
必然的に分館の設置が叫ばれた。  
百数十戸、人口二八〇人の椿沢  
部には部落所有の青年会館が早  
部として生花を教えた時、最初  
は大勢集まりましたが、月日がた  
つにつれて、だんだん減つて  
行き、公民館の活動はむづかしい  
ものだと感じていました。たまた  
ま突然公民館長の推せんを受け  
ました。お引受けした以上、  
皆さんの指導で新生活運動を重  
点的に行きたくて行きたいと思  
います。」

公民館の管理運営について研究  
すると共に、相互に連絡し、各  
公民館担当者会議は五月三十一  
日より三日間、東京芝の女子会館  
で三月二十九日発表、旧三三川地  
区としては初めての分館設立に  
つた。そして開館式は第四十五回  
敬者会をかねて四月一日開かれた  
建物は総坪数五一・五坪で、大  
会議室二六坪、小会議室八坪、応  
接室四坪、図書室三・七五坪、待  
合室四坪、その他となっている。  
総坪数約三万一千二百坪を算出  
み、そのうち部落からの助成金二  
〇〇円、産業界補助部四二〇〇円、総である。

## 県下初の婦人公民館長



県下初の婦人公民館  
長が長岡市に登壇し、  
公民館活動に新風をお  
くるものと期待されて  
いる。六日市公民館長  
水落キユさん(長岡市  
水落館長談)「以前公民館の

同館運営審議委員会の推せんを受  
け、四月十二日付で就任したのも  
水落さんは新潟大学本部長水落盛務  
課長の夫人で、なかく六日市婦人  
会副会長として活躍していた。  
水落館長談 「以前公民館の

(写真は水落館長)

## 文部省 各県公民館担当者会議

公民館の管理運営について研究  
すると共に、相互に連絡し、各  
公民館担当者会議は五月三十一  
日より三日間、東京芝の女子会館  
で三月二十九日発表、旧三三川地  
区としては初めての分館設立に  
つた。そして開館式は第四十五回  
敬者会をかねて四月一日開かれた  
建物は総坪数五一・五坪で、大  
会議室二六坪、小会議室八坪、応  
接室四坪、図書室三・七五坪、待  
合室四坪、その他となっている。  
総坪数約三万一千二百坪を算出  
み、そのうち部落からの助成金二  
〇〇円、産業界補助部四二〇〇円、総である。



本年産第一回目の社会教育主事  
会議は六月  
十一、十二  
日、町村金  
館において  
開催された  
。社会教育  
長より挨拶  
あつてのち  
藤田課長か  
ら「教育施  
策の大綱」  
が説明され  
、その存在  
は明らかで  
あるが、何  
れにしても  
昭和二十七  
年度に編成  
されたまま  
であり、な  
かには死亡  
、転居等も  
あり、その  
改正が望  
まれている  
。今回の社  
会教育主事  
会議でも論  
議され、思  
切った改  
革をすること  
となり、詳  
細は委員  
をあげて今  
後も研究す  
ることとな  
つた。主たる  
理由は、  
①講師団は  
各出張所ご  
とに編成す  
る。②各出張  
所において輪  
旋する。③そ  
のためには一  
定のワカが  
必要である  
。等々で全  
県面に均衡  
のとれた利  
用を計ること  
となつた。

## 社会教育主事会議開かる 本年度行政方針と施策

本年産第一回目の社会教育主事  
会議は六月  
十一、十二  
日、町村金  
館において  
開催された  
。社会教育  
長より挨拶  
あつてのち  
藤田課長か  
ら「教育施  
策の大綱」  
が説明され  
、その存在  
は明らかで  
あるが、何  
れにしても  
昭和二十七  
年度に編成  
されたまま  
であり、な  
かには死亡  
、転居等も  
あり、その  
改正が望  
まれている  
。今回の社  
会教育主事  
会議でも論  
議され、思  
切った改  
革をすること  
となり、詳  
細は委員  
をあげて今  
後も研究す  
ることとな  
つた。主たる  
理由は、  
①講師団は  
各出張所ご  
とに編成す  
る。②各出張  
所において輪  
旋する。③そ  
のためには一  
定のワカが  
必要である  
。等々で全  
県面に均衡  
のとれた利  
用を計ること  
となつた。

## 講師団の編成替え

講師団の編成替えは年々増加し、  
その存在は明らかで  
あるが、何れにしても  
昭和二十七年度に編成  
されたままであり、な  
かには死亡、転居等も  
あり、その改正が望  
まれている。今回の社  
会教育主事会議でも論  
議され、思切った改  
革をすることとなり、詳  
細は委員をあげて今  
後も研究することとな  
つた。主たる理由は、  
①講師団は各出張所ご  
とに編成する。②各出張  
所において輪旋する。③そ  
のためには一定のワカが  
必要である。等々で全  
県面に均衡のとれた利  
用を計ることとなつた。



野菊会

西頸 土田 惣次

青海町字高瀬は農家七戸の部落屋は男女合して二八名、男子はほとんど勤めに出ていて、女子が農事のない手となっている。

高瀬部落の青年女子は昨年までではないという口をたじた。自分冬期間のほとんど毎日各自思いの生活をもう少しと見つけて思いに裁縫(和洋裁)も編物講習会から問題集をつかみ、その上では機織りなどしてきてきたが、この話をきいてはなげきならぬに接して、毎日生活は時間的に冬はせめて週一程度でもみんな二として、毎日の生活は時間的に冬はせめて週一程度でもみんな二として、毎日の生活は時間的に冬はせめて週一程度でもみんな二として、毎日の生活は時間的に...

三月末までこれを教養向上の唯一の機会としていろいろ話を聞かして大切な経験が得られたと反省して、もうちょっと考えたが、最初に「教養を向上するにはどうしたらよいか」という課題をかかへ、社に仲良くされたことが何より大事だ。ここで説明されたものは、自分の毎日の生活をほんのりわかつ...

を手に配して、話し合いを気安の青年団長といふ関係である。く出来るようにしてあげた。みんなは金曜日待ちどろしいほほえましい日だ感するまじいようにして、主事だ、講師だといふものもなこの青年学級がこんなにもまくなできなかったのを今不思議に思っているのは、田教育委員事務局長のまことに適切な指導があったことによる。事務局長の青年(男)職生生活に入つても、この青年学級は男を二人、この仲間に入れて結婚の準備が出来る事となった。そしてしていつたのである。一段落いたの名を「野菊会」と呼ぶことにしてからの指導なども、今く仲た。春さきも準備をうけて、ナス間となつていしと通つたり、歌を習って歌壇に配つた。青年団でつたり、笑つたのしながら目標に一段歩の共同作業を行つていくが方向づけていった。(指導者の一女青年のこの気分の持ちこみで人の青年職員といふのは高瀬部落に生気がたつてきた。

今般期間の生活記録がとられていた。これまでに讀書会が三回もたれた。四月から毎月一回学級の先生から青年心理の話を聞くことにもした。カリ版講習、たべり会などを楽ししい企画もみられる。これがみな教養向上の目標へ一貫して流れていくのだ。半生にみたないの期間という印刷されたものが、大分な盛りとなつていくところから活動の様子を挿入しておく。

近県優良公民館 視察案内 (1)

- ◎長野県
信濃井町公民館 信濃線後井町下車徒歩五分
信濃井町公民館 信濃線後井町下車徒歩五分
信濃線後井町下車徒歩五分
信濃線後井町下車徒歩五分
◎新潟県
中野市公民館 中野市公民館
中野市公民館 中野市公民館
中野市公民館 中野市公民館
中野市公民館 中野市公民館
◎山形県
山形市公民館 山形市公民館
山形市公民館 山形市公民館
山形市公民館 山形市公民館
山形市公民館 山形市公民館
◎福島県
福島市公民館 福島市公民館
福島市公民館 福島市公民館
福島市公民館 福島市公民館
福島市公民館 福島市公民館
◎群馬県
群馬市公民館 群馬市公民館
群馬市公民館 群馬市公民館
群馬市公民館 群馬市公民館
群馬市公民館 群馬市公民館
◎栃木県
栃木市公民館 栃木市公民館
栃木市公民館 栃木市公民館
栃木市公民館 栃木市公民館
栃木市公民館 栃木市公民館
◎群馬県
群馬市公民館 群馬市公民館
群馬市公民館 群馬市公民館
群馬市公民館 群馬市公民館
群馬市公民館 群馬市公民館
◎山形県
山形市公民館 山形市公民館
山形市公民館 山形市公民館
山形市公民館 山形市公民館
山形市公民館 山形市公民館
◎福島県
福島市公民館 福島市公民館
福島市公民館 福島市公民館
福島市公民館 福島市公民館
福島市公民館 福島市公民館
◎群馬県
群馬市公民館 群馬市公民館
群馬市公民館 群馬市公民館
群馬市公民館 群馬市公民館
群馬市公民館 群馬市公民館
◎山形県
山形市公民館 山形市公民館
山形市公民館 山形市公民館
山形市公民館 山形市公民館
山形市公民館 山形市公民館
◎福島県
福島市公民館 福島市公民館
福島市公民館 福島市公民館
福島市公民館 福島市公民館
福島市公民館 福島市公民館
◎群馬県
群馬市公民館 群馬市公民館
群馬市公民館 群馬市公民館
群馬市公民館 群馬市公民館
群馬市公民館 群馬市公民館

文部省企画
「録音教材」の紹介
○青年団体のあり方シリーズ
「集団研究」
お茶の水女子大学教授
吉田 昇
青年団体に於けるグループワークについて述べる。
○婦人団体のあり方シリーズ
「喜ばれる集会」
団体代表三名座談会
「喜ばれる集会」
団体の集いのよくなる方法について検討する。
「婦人団体と家庭生活」
評論家 沼田誠子
団体の会員として得た知識技能が、家庭生活にどう生かされたかを事例によつて述べる。
○話し方シリーズ
「報告・発表」
国立国語研究所員
大石初太郎
報告・研究発表・聴衆などが聞き手に正しく理解されるためには、どのように準備し、またどの程度までとめたらよいかについて述べる。
「討論」
東京女子大助教
藤岡 健一
集まり討論の特徴、討議の一般的意義、討議における役割の分担、討議の方法とその變形式などを説く。



レコードライブラリー
「喜ばれる集会」
団体代表三名座談会
「喜ばれる集会」
団体の集いのよくなる方法について検討する。
「婦人団体と家庭生活」
評論家 沼田誠子
団体の会員として得た知識技能が、家庭生活にどう生かされたかを事例によつて述べる。
○話し方シリーズ
「報告・発表」
国立国語研究所員
大石初太郎
報告・研究発表・聴衆などが聞き手に正しく理解されるためには、どのように準備し、またどの程度までとめたらよいかについて述べる。
「討論」
東京女子大助教
藤岡 健一
集まり討論の特徴、討議の一般的意義、討議における役割の分担、討議の方法とその變形式などを説く。



集録記
六月号をお届け致します。
今回は集録記の「教育施設の大綱」を附録すること致しました。但しこれは最長編のもののみです。
☆公民館法制定促進のための募金運動を展開中です。何分の御寄附をお願ひ致します。全公連を奮起し「よりよい公民館」となるために努力致します。(甲)